

卒業生各位

学校法人山脇学園
理事長 山脇 恭

山脇学園短期大学学生募集停止のお知らせ

このたび学校法人山脇学園は、58年の伝統を有する山脇学園短期大学を閉学することを前提として、平成21年度の学生募集を停止することとし、平成20年5月12日に文部科学省に対して届出を行いました。

山脇学園短期大学は、明治36年(1903年)の学園創設時における「女性としての本質を磨き、時代に適応する教養高い女性を育成する」との建学の精神のもと、1950年に日本で最初の短期大学の一つとして開学して以来、「自立した社会人としての女性を育てる」ことを教育理念とし、志し高く人生を切り拓いていく多くの女性を輩出してまいりました。

しかしながら、わが国においては少子高齢化が進行し、大学や短期大学をめぐる経営環境は大きく変化いたしました。山脇学園短期大学においても入学する学生数が減少し、平成9年度から12年間連続で定員割れとなる事態を迎えております。このことは単に18歳人口が減少していることのみが原因ではなく、山脇学園短期大学の社会的使命が終焉を迎えていることの何よりの証左であると言わざるを得ません。

これまで学内においては、短大の実績を生かすことを含め多面的に検討を行って参りましたが財務体質改善に繋がる決定的な施策を案出することができず、事ここに至り、山脇学園全体の将来を見据えるべきであるとの観点から、次なる学園の再生と発展のために、山脇学園短期大学の閉学に向けた苦渋の決断をした次第です。

このたびの決定により、とりわけ山脇学園短期大学の卒業生の皆様にとって「母校」が失われることを真摯に受けとめ、学園の中に山脇学園短期大学の卒業生のためのスペースを設けるなど、万全の配慮を行いたいと考えております。また、卒業生の皆様のネットワーク作りなどに対しても、学園としてできる限りのご支援を惜しまない所存です。

山脇学園短期大学は閉学いたしますが、今日の男女平等の参画社会について先見性をもって100年以上前から標榜していた創立者・山脇玄の平等の思想を受け継いでいくべき学園の経営理念には、些かの変質もございません。逆に困難を伴う時代だからこそ、その先端を切り拓く自立した新しい女性像を追求する使命を改めて自覚し、“(仮称)山脇ルネッサンス”(教育・学習環境の改善などを中心とした山脇学園中学校・高等学校の改革構想)に着手することといたします。

卒業生の皆様におかれましては、これまでの山脇学園短期大学に対するご厚情に深く御礼申し上げますと同時に、学生募集停止に至った事情をご賢察いただき、今後の学園運営につき、これまで以上のご理解とご協力を賜ることをお願い申し上げます。

以上